

事務局　町田地区労
八柳　ひろ子

2026年11月号

「町田市へ再要請書」の回答10/16届く

1.「生活保護のしおり」を市の窓口等に置いて。

答:相談者の困りごとを傾聴し、渡しします。

・市内５地域に地域の方々の相談を受け付ける

「まちだ福祉〇ごとサポートセンター」の活用を。

2. 民生委員等が「65歳以上の単身世帯や後期高齢者世帯に、年１回以上の訪問」の要望

答：高齢者見守り訪問の対象者を見直しした。

高齢者の見守りは、自主グループ・町内会なども実施し、寄せられた情報で高齢者支援センターが訪問している。

3. 下水道料、来年1月分からの値上げ再検討を！

答：今後１０年間の収支は、施設の維持管理に必要な収入が約35%不足する見通しで、使用料を改定。

・二部使用料制＝「基本使用料金（定額）」+「従量使用料（水量に応じて増える）」

・月８立方メートルまで基本使用料金のみを変更し、

従量使用料（1立方メートル３０円）も徴収することに。

注）基本使用料金は据え置き

4. 野津田公園スケートパークの予算の執行を一時止めて市民と話し合い、建設場所の再検討を求めます。

答：現在の場所が最適地との判断した。

～市と懇談　11/9（月）10時～１１時～

市と1，3，4の要請について懇談に　参加を！

＊９時半市役所1Fロビー集合

＊右に続く⇒

「第10期介護保険事業計画に向けた要望」町田市から10/7回答届く

パブリックコメントにて広くご意見を伺う予定で、個別懇談はしない。

1. 介護保険料を値上げしないで、軽減制度をつくること。

答：第９期と比較して増加が、見込まれる。

・介護給付費準備基金は、保険料の余剰金を管理し、次期計画期間の保険料の抑制等に活用する。

・介護保険料の軽減は、国等の公費を活用しているため、国の方針に基づき実施する。

2. 特別養護老人ホームなど「待機者ゼロ」の計画を。

答：総合的に勘案し、計画を策定する。

・地域密着型サービスの整備計画あり。

3. 訪問・通所サービスの価格の引き上げを。

答：適正なサービス単価を定めています。

4. 介護従事者の確保・定着促進のために独自の処遇改善策の制度を。

答：市独自の経済支援はしない。人材確保や育成等の取り組みを町田市介護人材開発センターとともに進める。

5. 介護計画素案の資料配布と説明会の要望

答：パブリックコメントは１２月中旬をめどに実施。

素案は、公共施設等で設置・配布し、多くの方に素案の趣旨を伝える方法を検討中。

～次回幹事会　～

＊11月17日（火）　１８時半～

中央公民館　学習室６

議題　1. 11/9　　市との懇談について

2.「（仮）介護の現状と問題について」学習会

12/13（日）13：30～15：30

講師：一番ケ瀬伸子さん（社会福祉士、精神保健福祉士）

場所：町田教育会館